

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MNC959

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクス

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクス ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ず一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：ロードスター（NCEC全車）

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マニュアル発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

- フィルタークリーニングの際は、カーボンダクトケース部のみを取り外し、フレッシュエアダクトを取り外す必要はありません。

PARTS LIST



ダクトケースにフィルター、Vクランプ、ロアケース、ロアクランプが組み込まれて梱包されています。

ノーマルクリーナーの取り外し



- 1: エアフロセンサー配線カプラーを取り外します。クリーナーケースの固定ナット2個を取り外し、上に引き上げてノーマルクリーナーASSYを取り外します。クリーナーケースに付いているエアフロセンサーを取り外します。

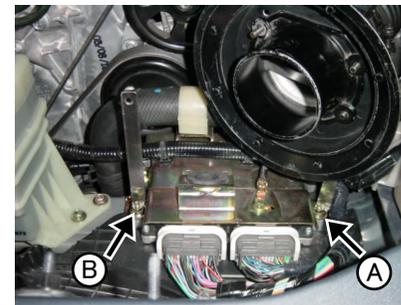
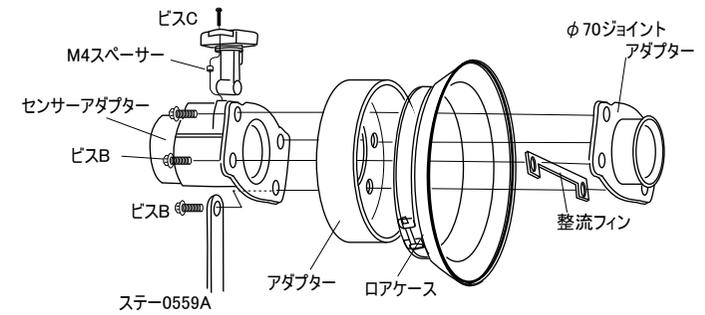


- 2: フロントバンパーを取り外します。取り外しは、整備書の手順に従って取り外してください。

ラムエアインテークシステムの取り付け

注)各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。

- 1: 付属アダプターを右図のように組み立てます。



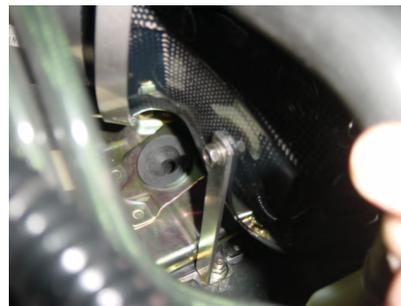
- 2: 「1」で組み立てたアダプターを車輻の矢印A部に固定します。(純正ナットを使用) 矢印B部にもう1本のステー-0559Aを取り付けます。(純正ナットを使用)



- 3: フィルターを挿入した状態でカーボンダクトケースをひねるように奥に押しながら配置します。



- 4: Vクランプを使用して、カーボンダクトケースとアダプターを仮組みします。



- 5: 「2」で取り付けした矢印B部のステーに、カーボンダクトケース側面をビスAで固定します。



- 6: フレッシュダクトを通すため、ラジエーターシュラウドシールプレートを写真のようにカット加工します。※別紙の型紙を使用し加工してください。



- 7: 加工したシールプレートにフレッシュエアダクトを通し、付属のビスAとナットを使用してステー-0559Bで固定します。



- 8: オートエアコン装備車はアンビエントセンサーが付いていますので、写真のように移動させ、付属のタイラップで留めます。



- 9: アンビエントセンサーが、付いていた穴にフレッシュエアダクトをビスAで固定します。



- 10: エアフロセンサーのカプラーを取り付け、各部増し締めします。バンパーを元の通り取り付けます。